

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		りんごの木		公表日		2026年 1月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・「体を動かす運動の部屋」「静かに過ごす部屋」など複数の部屋を用意し、確保できている。	・利用人数や利用児の特性に応じて、随時必要なスペースを検討し、確保していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	2	・利用人数に応じて十分な配置をしている。	・引き続き、利用人数や利用児の特性に応じて適切な配置をしていく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	・活動ごとに場所を固定し、分かりやすい配置、構造化に取り組んでいる。	・利用児に配慮した設備環境を整えていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・毎日清掃を行い、過ごしやすい環境を維持している。 ・手洗いと消毒を徹底して行っている。	・毎日の清掃と消毒を徹底していく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・パーティションで区切った個室を作ったり、スヌーズレンの部屋を用意している。	・こども一人ひとりに応じて、柔軟性をもって部屋や場所の提供をしていく。	
業	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	・毎日反省の時間をとり、内容や支援方法を話し合っている。 ・月に1回、会議の時間を設け業務の改善を見直している。	・継続して、定期的な職員面談や研修の機会を設けていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・年1回の保護者アンケートを実施。 ・面談時や送迎時などに意向を随時確認している。 ・ご指摘いただいた点は改善に努めている。	・引き続き、アンケートの実施と日々の中で意向や要望を把握していく。	

務 改 善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・勤務形態の違いにより、意見の把握が難しい場合があるため、アンケートの実施、1日の振り返り時に聞き取り、随時業務改善している。	・打ち合わせ、振り返り、その他時間にコミュニケーションをとり、業務の改善に努めていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	・第三者による外部評価は行っていない	・今後とも、他事業所職員との合同研修や、互いの事業所を見学して意見交換の機会を設けていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・定期的に研修に参加し意見交換を行っている。	・これからも、研修の機会を設け参加を促していく。
適 切 な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・支援プログラムの内容を事業所内で共有し、支援につなげている。	・支援プログラムを随時確認し、変更、共有し、適切な支援を実施していく。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	・検討会議を持ち、児童発達管理責任者と現場スタッフ全員で話し合いをした上で個別支援計画書の作成に臨んでいる。	・継続して、面談での聞き取りやニーズに応じた支援計画の作成に務める。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・児童発達支援計画を作成時には、児童発達支援管理責任者と子どもに関わる職員で検討し作成している。	・今後も、子どもに関わる職員と検討し、利用児の状況に応じた児童発達支援計画を作成していく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・面談時等に保護者様と相談の上、作成している。 ・内容は事業所内で共有し、計画に沿った支援につなげている。	・児童発達支援計画書を引き続き共有し、計画に沿った適切な支援を実施していく。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・保護者様からいただく検査結果と事業所で行う学習やその他活動における状況の結果の両方から子どもの状況を把握している。	・検査結果の更新があった場合は随時保護者様から共有いただくようにし、状況把握に努めていく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・面談時や送迎時に家族様の希望を把握し、地域と連携し、必要な項目を達成できるようスモールステップに配慮しながら支援内容を具体的に設定している。	・子ども本人と保護者様の両方の意向を確認し、地域連携することで各支援の橋渡しとなるよう努めていく。

支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・担任のスタッフを中心に、現場スタッフ全員でプログラムの計画や見直しを行っている。	・職員間での情報共有や意見交換を大事にしながら活動プログラムを検討する。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・一週ごとにテーマ活動を変えている 月ごとに次月の活動の進め方を話し合っている。	・これからも季節や行事に合わせて様々な活動を取り入れていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・机上課題や個別課題については、個人活動にて丁寧に対応し、運動やテーマ活動は集団活動にて適宜組み合わせている。	・活動内容についてはこどもの状況の様子を見ながら活動内容を個別、集団と組み合わせ対応していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・前日に内容や役割分担などについて打ち合わせし、プログラムを共有している。 ・反省や翌日のプログラムの共有にはグループLINEを活用している。	・支援内容の事前共有・打ち合わせを徹底していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・支援終了後に反省会を行い、記録をとっている。 ・全員で共有できるようにLINEなどを活用している。	・引き続き、活動の振り返り・反省会など、情報共有を行っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・全体の活動の記録に加え、利用児一人ひとりの記録をとっている。 ・スタッフ間で意見や課題が出た場合はすぐに記述し改善している。	・これからも、記録の徹底と支援方法の検証・改善に取り組んでいく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・半年ごとの個別支援計画書の作成・見直しの際に保護者様と面談し、詳細な報告や現状報告とともにニーズの再確認を行っている。	・半年ごとの支援計画の更新に伴うモニタリングと支援計画の見直しに取り組んでいく。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・こどもとよく関わっている現場職員のほか、児童発達管理責任者が同行して会議に参加している。	・引き続き、児童発達管理責任者とともに、こどもと日々関わっている現場スタッフも同行して、サービス担当者会議への参加を行なっていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携している。	・これからも、連携していく。

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・他保育所等との併行利用の際には保護者様を通して情報共有を図っている。	・支援内容や相互理解の機会があれば、積極的に参加していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・就学に際して連携機関と会議を重ね、情報共有をしていく。	・今年度も連携会議を行う他、就学に関する相談に応じていく。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2	・市内には児童発達支援センターはない為連携や助言等の受ける機会はないが、行政と連携をしている。	・今後は助言を受けられるようコミュニケーションを図っていきたい。 ・行政との連携により切れ目のない支援につなげていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	・現在、そのような活動はしていないが、今後機会を作りたい。	・障がいのないこどもと活動する機会の必要性を意識しながら、活動内容を考える。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・日頃から送迎などで保護者様と出会う際に、こどもの状況や課題について話している。	・保護者様との情報共有や共通理解のための報告に努めていく。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・母子通園の日に、保護者様が話し合う時間を持ち、こどもとの関わり方や発達の特性について学ぶ機会を設けている。	・母子保育やお話を継続して開催していく。

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・ 契約時や面談時に丁寧な説明を行っている。	・ 今後とも丁寧な説明を行う。 ・ 疑問点や質問事項にもしっかりと対応していく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・ 個別支援計画の作成時に保護者様と面談を行い、利用児と保護者様の意見を踏まえて作成をしている。	・ 保護者様の意思を尊重しつつ、こどもの利益の優先考慮となるよう対応していく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	・ 児童発達支援計画を示して内容や今後の目的などについて説明をし、同意を得ている。	・ 引き続き、計画書の説明を丁寧に行ない同意を得ていく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・ 保護者様から相談があった際は、現場職員を中心に検討して相談・助言等対応している。	・ 相談に対応し、必要に応じて職員間での相談・検討もしていく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	・ 毎週母子通園の日を設けており、その際に保護者会を開催することがある。 ・ 行事などでは保護者様同士の交流も目的の一つとしている。	・ 今後も、母子通園の際のお話を開催していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・ 対応した職員のほか、現場職員や児童発達管理責任者などが迅速に対応する。	・ 相談内容に応じて適切な職員が迅速に対応していく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・ 次月の活動内容については、HUGでプログラムを記載している。	・ HUGを通して次月のプログラムをお知らせする。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・ 当事業所でのことは、当事業所職員室内でのみ話すようにしている。 ・ ホームページ内ブログでは、各利用者ごとに写真掲載の可否についてアンケートを取っている。 ・ 個人情報の記入があるものを破棄する時はシュレッダー処理をしている。	・ 今後とも、個人情報の記載のあるものはシュレッダーにかけるなど、情報の取り扱いには慎重な対応を徹底していく。
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・ 写真や絵カード、文章を活用しながら分かりやすく伝えるようにしている。	・ 今後、配慮の必要がある場合は丁寧に対応していく。	

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関われた事業運営を図っているか。	2	3	・招待されることがあれば参加していきたい。	・来年度も招待された時は積極的に参加したい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・各種マニュアルを事業所に設置し、職員へ周知する。 ・重要な事柄は書面に記して保護者様に配布し、周知できるようにしていく。	・利用児の家族や職員へのマニュアルの周知を徹底していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・BCPを策定している。 ・非常時発生に備えて、火災、地震などの避難訓練を行っている。	・非常時発生をより具体的に意識した避難訓練や救出訓練を行っている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・見学時の聞き取りや契約の際に確認している。 ・また、保護者様から随時こどもの状況を確認している。	・引き続き入園前の丁寧な聞き取りを行い、入園後についても、聞き取りを行っていく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	・該当者なし	・今後、配慮が必要な場合は適切に対応していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・不安定な家具や破損した物がないか等、適宜確認を行っている。 ・安全に配慮した活動ができるよう事前に打合せをしている。	・引き続き安全に配慮しながら活動していく。 ・安全管理に必要な研修や訓練を実施していく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・災害等による非常事態時の避難先を周知し、その際引渡しに必要な情報を緊急連絡カードとして準備している。 ・カードの内容は年1回保護者様に確認更新している。	・子どもの安全確保のため、今後とも緊急連絡カードの確認更新をしていく。 ・面談等の際に安全確保に関して周知していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・ヒヤリハット報告集を作成しており、共有・改善に努めている。	・引き続き、ヒヤリハットの内容、事柄、事象が繰り返されない様に徹底していく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1	・外部での虐待防止に関する研修に参加し、参加した職員から研修報告で共有していく。	・継続した研修への参加と研修内容の周知に取り組んでいく。

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none">・契約や面談時に、対応について説明をしている。・個別支援計画書への記載をしている。	<ul style="list-style-type: none">・やむを得ない場合は、保護者様への説明をし、了承を得るようにしていく。
--	----	--	---	---	--	---